

「アジア日本研究ネットワーク」第3回会議

2017年2月18日（土）19日（日）

於）チュラーロンコーン大学文学部マハーチャクリーシリントン・ビル

(Maha Chakri Sirindhorn Building) 第1日 304教室、第2日 401/18教室

「日本文化」の可能性

ความเป็นไปได้ของ "วัฒนธรรมญี่ปุ่น"

基調講演 2017年2月18日（土） 10:15-11:15（受付開始9:30）

佐野真由子（国際日本文化研究センター准教授）

「幕末外交儀礼から考える日本研究の可能性

——本当に丸い地球のために——



FIRST AUDIENCE OF A BRITISH MINISTER WITH THE TOUNG OF JAPAN AT JEDDO.—FROM A SKETCH BY S. J. GOWDER.

〔万延元年 ラザフォード・オールコック英団公使の将軍拝謁（Illustrated London News 20 Dec 1860）〕

使用言語：＜講演＞日本語 ＜質疑応答＞日本語、タイ語、英語

2月18日（土） 11:30-16:00

＜研究発表＞

周維宏（北京外国語大学）

Himawan Pratama（インドネシア大学）

呂佳蓉（国立台湾大学）

＜事例報告＞

朴麗玉（慶北大学）

Patcharaporn Kaewkitsadang（タマサート大学）「日本語の「聞く」「話す」能力向上を目指すスカイプ使用」

「日本近代化における文化近代化の測定指標について」

「クールジャパン政策以降における新たな日本像：インドネシアを事例として」

「サブカルチャーの伝播と受容：台湾における日本語の借用語を例にして」

「地域社会における日本文化教育—韓国大邱市を中心に—」

2月19日（日） 10:00-13:50（受付開始9:30）

＜事例報告＞

河合淳子（京都大学）

佐々木幸喜（岡山大学）

「短期留学プログラムにおける学生合同セミナー：何をどのように発表し、議論するのか」

「外国人留学生を対象とした日本文学教育の実践例と課題—岡山大学短期留学受入プログラム生の場合—」

Chomnard Setisarn（チュラーロンコーン大学）

「チュラーロンコーン大学文学部日本語講座のHonors Program」

＜学生研究発表＞

Penpisut Kedgan

Tippa Sirisajjawan

Parida Jirawuttinunt

「日本人女流作家の短編小説にみるタイ表象—「ホテル・オリエンタル」と「天国の右の手」を対象に—」

「京都と岩手の昔話における樹木の描写と意義の比較」

「日タイ両語におけるES型心理動詞のアスペクトの対照研究—期間副詞および「ながら」の共起をめぐって—」

入場無料（第1日定員100名、第2日定員50名）

お申し込み・お問い合わせ先／anjs.2017@gmail.com

主催：チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科日本語講座

共催：Chula Global Network / 京都大学アジア研究教育ユニット / アジア日本研究ネットワーク委員会